



ふくしだより

FUKUSHI DAYORI

No. **30**
2021.4



寒風に負けず
元気です

Contents

- ・ 赤い羽根共同募金助成事業
西村原地区での活動状況(経過)について
- ・ 社協事業を詳しく紹介(相談事業)
- ・ 小豆圏域ねっとワーク会議の活動
＜施設紹介＞
- ・ 社会福祉法人ひまわり福祉会 グループホーム ソレイユ
社会福祉法人 サンシャイン会
- ・ 赤い羽根共同募金報告
赤い羽根自動販売機について
ボランティア活動保険
第6回社会福祉大会

R3.1.29 坂手百年会





赤い羽根共同募金事業「西村原自治会高齢者活性化事業」

西村原地区での活動状況（経過）について

原地区介護支援ボランティア 中川 繁 征

活動のきっかけは

高齢化の進んだ西村原地区では、女性は毎月3回集う会を持っていましたが、男性は集える機会や場所がありませんでした。ある高齢者より、男性も集える場を設けてもらえませんかとの相談があったところ、時期を同じくして、「一人暮らし高齢者を励ます会」の案内書類をいただいたので、地区担当民生委員さんに実施に向けて相談させてもらったところ、是非実施しませんかとの返事をもらうことができました。

初回（平成30年8月実施）

一人暮らし高齢者を励ます会を実施するにあたり、地区女性グループの「原サロンの会」にカレーづくりを協力依頼し昼食をとることができました。

その後のおしゃべりや情報交換などで盛り上がったことはいうまでもありません。ただ、エアコンの設置が1台しかなく、暑い室内での行事であったことが思い出されます。高齢者を中心に世話人を含めて男女19名の参加がありました。

参加者の意見や希望を聞いてみると月1回程度集まりたいとの要望が大多数でした。

これらの意見も参考にしながら、一人暮らし高齢者を励ます会はもちろん、でき得る限りの集いを計画することとなりました。

コロナ禍での集い

昨年2月よりコロナ感染拡大防止を考えた集いに切り替えるため、参加者の意識の改革や行事時間の短縮をはかるようにしています。

現在は、健康体操（百歳体操）を11時から実施し、11時40分にはお弁当を配布し終了させるようにしています。体操時には「目標は元気で100まで」を合言葉に体操の実施です。

感染防止のため、①手の消毒②マスク着用③換気などは当然行っています。また、12月に予定であったしめ縄づくり教室では室内での密になることを避け、講師にしめ縄の完成品の製作を依頼し、配布することとしました。

原公民館の屋外で、集まった順番に、しめ縄、おでん、配布物を渡し集いを終えました。

終わりに

地区の高齢者等が集まっていただくため、小さな活動しかできませんが、住民参加により地域の支え合いや、生きがいつくり、健康づくり等に協力できればと思っています。

集いを始めて3年が終わろうとしています、今後も続けることができればと思っています。



社協は皆さんの相談を受付けています

香川おもいやりネットワーク

- ◎課題発見・連絡（支援を必要とする方を発見し、連絡します）
- ◎訪問相談（行って、見て、聞いて、状況を把握します）
- ◎制度検討（対応できる既存の制度がないか検討します）
- ◎相談・支援（制度につなげるなどし、ない場合は支援の方法を検討します）
- ◎経済的支援（緊急を要する場合などは、食材の購入など現物給付を行います）
- ◎継続的支援（自立を目標に、継続的な相談・支援や見守りを行います）

心配ごと相談

- ◎どなたでも利用できます。
- ◎毎月、第2火曜日（内海会場）第4火曜日（池田会場）
- ◎日常生活における心配ごとの相談に応じ、助言や専門機関へ紹介します。

生活福祉資金貸付制度

- ◎比較的所得が少ない世帯（「低所得者世帯」という）、高齢者世帯、障害者世帯に対して、資金の貸付と必要な援助指導を行うことによって、世帯の経済的自立や在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。



生活困窮者自立相談支援事業

- ◎まずは、困っていることをお聞かせください。
- ◎ご相談の中で、課題を一緒に整理していきます。
- ◎課題解決に向けた目標を立て、具体的なプランを一緒に作成します。
- ◎プランに沿って取り組み、ひとつずつ課題を解決します。

日常生活自立支援事業

- ◎福祉サービス利用援助
福祉サービスの情報を分かりやすく提供、手続きや契約する際の援助をします。
- ◎日常的金銭管理サービス
預貯金の出し入れ、年金の請求手続き・確認、公共料金の支払いのお手伝いをします。
- ◎書類等預かりサービス
預貯金通帳、証書などを銀行の貸金庫で保管します。



詳しくは、小豆島町社会福祉協議会にお尋ね下さい。 TEL.82-5318

小豆圏域ネットワーク会議の活動

社会福祉法人・施設の公益的活動を共同で行う「小豆圏域ネットワーク会議」の活動も3年目に入りました。今年度はコロナ禍の中、福祉に関わるメンバーのやる気をいかに保つか、どのように向上していくかのための「人材育成・定着セミナー」の開催と、2年にわたり開催してきた「災害時の福祉的支援のための備え」のため、各施設の業務継続計画策定に関するセミナーの開催を計画しました。

このうち、「人材育成・定着セミナー」は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため12月8日にオンライン研修で実施しました。

講師は、頸髄損傷で首から上だけしか動かせない状態ながら、観音寺市に拠点を置く社会福祉法人の理事長として精力的な活動を続け、福祉事業、講演活動などで活躍をされている毛利公一さんです。

お話は、ご自身の経験から、それぞれの人に価値、強みはある。自分の思いを口にするによりその強みを認識することができ、それを生かして前向きにやっていくことが必要である。との内容でした。



〈セミナー参加者の皆さん〉

社会福祉法人ラーフ理事長 毛利公一氏プロフィール

- ・早稲田大学在学時アメリカ留学中、海の事故で頸髄を損傷
- ・2008年3月 NPO法人ラーフを設立し、その後3つの拠点を設立する。
- ・2014年 青年版国民栄誉賞と呼ばれる日本人間力大賞を受賞。
- ・2015年 全国でも例の少ないNPO法人から社会福祉法人化を実現。
- ・2018年 新施設をオープンし、障がい者・高齢者の介護事業及び就労支援等を実施している。



〈講師の毛利公一さん〉

参加者感想

- ・心に響いた。日々を全力で生きることの大切さを学んだ。前向きに挑戦したい。
- ・思ったこと、目標を口に出して言うことにより、自分自身を再認識でき、やる気につながる。
- ・障害を持ちながら自分の強みを生かして、前向きに頑張っているところに刺激を受けた。
- ・「ピンチの時がチャンス」と本気で考えられれば、その場を打開できると思えた。
- ・2か月に1回職員全員にラブメッセージを送っていることが印象的。必要としてくれていると思うと頑張れる。

その他多数の共感の感想が寄せられました。

令和2年度 小豆島町社協会費報告

(令和3年2月1日現在)

《一般会費》 1,161,200円
《賛助会費》 1,385,000円

小豆島町社協へ

あたたかな善意をありがとうございました。

令和2年4月～令和2年12月

寄付件数 6件
寄付合計金額 90,940円

ご協力ありがとうございました。

今後とも、一人でも多くの方に社協の活動をご理解いただきご協力をお願いいたします。

〈施設紹介〉

社会福祉法人ひまわり福祉会 グループホーム ソレイユ

管理者 若山 朋子

グループホームソレイユは、小豆島町が旧二生幼稚園舎を改修して「小豆島町障害者グループホーム」として整備された施設です。住み慣れた小豆島で暮らしたいという障害者やその家族からの永年の願いがかなったものです。平成26年7月開設時から当法人が小豆島町からの指定管理者となり運営に関わっています。

ソレイユでは、障害をもった5人の方が日中はひまわりの家を利用し、夜間は世話人や生活支援員の支援を受けながら共同生活を送っています。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事は一部中止になっていますが、誕生会、カラオケ、お菓子作りと余暇活動を楽しんでいます。

毎年12月に開催するクリスマス会にはボランティアグループを招いて、演奏や手品等を披露していただいています。この会は入居者やそのご家族、職員との親睦も兼ねており、年間行事の中でも大切な会となっています。

その他に、自治会活動（清掃・夏祭り）にも参加しています。活動中にいつも地域住民の方々から温かい言葉をかけていただき、本当に感謝しています。入居者の中には、隣の二生公民館で行われる活動に参加し、地域住民の方々と一緒に製作活動に取り組んでいる方もいます。これまでは、事業所と家との往復だけの生活だった方が、ソレイユに入居されたことによりコミュニティが広がったと、ご本人はもちろんご家族の方も喜んでいます。

最後に、入居者の方が安心して安全に暮らし、地域住民の方々とのふれあいを大切に、地域に根差した事業所として活動していけるよう職員一同努力していきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※当施設は、主に知的障害者を対象とした短期入所サービス（定員1名）も行っています。介護者の病気等で自宅で介護ができない場合や介護者の休息などを目的に、障害のある方に短期間ご利用いただくサービスです。ご利用中は生活支援員等が入浴、排泄、食事等の必要な支援を行います。詳細につきましては、グループホームソレイユ（☎0879-75-2320）までお気軽にご連絡・ご相談ください。



〈ソレイユ外観〉



〈クリスマス会〉

サンシャイン会は地域共生社会を目指しています。

法人理念は

○自助・互助・共助・公助、4つのバランスの取れた福祉・地域共生社会の実現を目指します。

○地域社会の中で生きるサービスを提供し、地域の可能性を創出します。

この2つです。

地域共生社会とは、社会や暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながっていることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

小豆島・豊島の小豆圏域全体で地域共生社会を実現できるように地域住民の皆さん、さまざまな関係者の方々と共にいろいろなことにチャレンジをしていきます。

いろいろなチャレンジをさまざまなツールを活用して、情報発信をしていますので、ぜひご覧いただけると幸いです。

福祉の視点で小豆島がより良くなれるようにこれからも全力で取り組んでいきます。

サンシャイン会では実践している取り組みや行事などについてYouTube、SNSを活用して発信をしていますので、ぜひご覧ください。



広報担当：サンちゃん



YouTube
ふくしGO



Instagram



Facebook

福祉・介護に関するお悩みもいつでもご相談下さい。



社会福祉法人 サンシャイン会

TEL 0879-75-2187



赤い羽根共同募金



共同募金報告

(令和2年10月1日～12月31日)

みなさまからの温かいご支援、ご協力により多くの善意が寄せられました。心から感謝申し上げますとともに、募金結果をご報告いたします。

募金額内訳	(単位：円)
戸別募金	4,356,800
法人募金	131,000
職域募金	242,500
募金箱	15,282
自動販売機	269,191
その他	18,800
合計	5,033,573

オリーブ公園、地域活動支援センターオリーブの皆様、あずき島っ子の皆様ご協力ありがとうございました。

令和2年度助成報告

4,117,321円

- 小豆島町社会福祉協議会
- 池田老人クラブ
- 内海老人クラブ
- 小豆島町老人クラブ連合会
- 小豆島町婦人会池田支部
- 小豆郡手をつなぐ育成会
- 小豆島町障害者協会
- 小豆島町障害者スポーツ大会事務局
- 小豆地区保護司会東分区
- 小豆生活研究グループ
- 日方自治会 老人クラブ
- 城山保存会
- 西村中条自治会
- さわかクラブ(草壁本町南)
- 中山農村歌舞伎保存会
- 西村原自治会

赤い羽根自動販売機

「赤い羽根」マークがついた自動販売機で飲物を購入すると、その売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される仕組みです。赤い羽根自動販売機を見かけたら、ぜひ飲料水を購入して募金にご協力いただきますようお願いいたします。



小豆島町設置状況 (9台)

コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

八木化粧品店

小豆島オリーブ公園

サントリービバレッジソリューション(株)

八木化粧品店

香川船業(株)

社会福祉法人 サンシャイン会

小豆島東消防署

内海B&G海洋センター

小豆島中央病院

小豆島町役場庁舎内

ボランティア活動保険

ボランティア活動中におこるさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する保険制度です。

★加入の条件

- 日本国内で、他人や社会に貢献する自発的な無償の活動
- 社会福祉協議会に登録されているボランティア個人またはグループ、NPO団体。

★年間保険料

	基本プラン	天災・地震補償プラン
保険料	350円	500円

★補償期間

加入手続を完了した翌日から令和4年3月31日まで

★その他

用途に合わせ、行事用保険や有償ボランティアの保険もあります。ご相談ください。

★注意

複数のグループに所属しボランティア活動をされている方は、いずれかのグループで加入すれば、他のグループでの活動も補償対象となります。

補償内容・金額、その他加入条件などの詳しい内容については、社会福祉協議会までお問い合わせください。 ☎82-5318

第6回

社会福祉大会開催のお知らせ

本大会は、町内の福祉関係者が一堂に会し、3年に一度開催しております。「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し、一人ひとりが今後の活動に取り組む決意を新たにするとともに、多年にわたり本町社会福祉の発展に貢献された方々の顕彰と記念講演を行います。

お問い合わせ

小豆島町社会福祉協議会

☎82-5318

* 状況により、内容等の変更・中止になる場合がありますが、ご了承ください。